

サクラソウ日記

自学ノート提出数累計
346冊(245人) 10/6 現在
文責 校長 宮脇 真一

本日、前期の終業式を行いました。式中に話した内容は以下に書きましたのでご覧ください。

児童の健やかな成長を願い、授業を中心とした教育活動を充実させることで学力の向上、豊かな心、健やかな体の育成を目指した毎日でした。

また、4年4組担任の田上教諭が、11月に出産を控え、本日の授業を最後に産前休暇に入りました。後任の担任は算数専科の楠原教諭が務める予定です。



サクラソウの「今」
(令和4年10月5日撮影)

～自分ごととして考える～ 終業式にて

(終業式にて児童に話した内容の概略は次の通りです)

先週から今週にかけて、792名全てのみなさんの通知表を見せてもらいました。学習での頑張り、日常生活の中での取組、行事へ向けての工夫など、4月から半年間の成長が記されていました。また、これから頑張ること、期待していることも書かれていました。今日、この後受け取る通知表には、担任の先生からのこのようなメッセージが込められています。まずは自分で読み、毎日君たちを支えてくれているお家の人に感謝の言葉を添えて、「必ず両手で」渡しましょう。

さて、明日から12日まで、5日間の短い期間ですが秋休みです。夏休み前の集会では「続けて頑張ること」について話をしました。今日は「自分ごととして考えること」について話します。

今年、私は大津小学校の全ての先生に、みなさん一人一人の「学ぶ力」を伸ばすことを目標にすることを話しています。具体的には、授業を通して「わかる・できる」経験を積むことにこだわってほしいということです。そのために「何ができるようになったのか」「今、何が分からないのか」「次は何を学びたいのか」などについて「授業の振り返り」で書くことも伝えています。また、分からないことは周りの友だちに「ねえ、ちょっと教えて」と聴くことや、タブレットを使って自分で調べることも指導してもらっています。

大事なことは、「自分で」取り組むことです。今年、大津小学校の授業を見に来られたある先生が、「授業中に自分が分からない言葉があったとき、自分のタブレットをすぐにかけて検索していた4年生の男の子がいた」ことに感心されていました。私のところに自学ノートを持ってきた子どもの中には、「テストのやり直し」と書いて、テストの時に分からなかった問題を、先生に質問しながら自分で復習している人が何人も出てきています。

困ったこと、分からないことが起きた時、「自分で」尋ねたり、調べたりすること。これは勉強だけでなく時間の使い方や人との接し方など、生きていく上で必要な力です。「言われて」動くのではなく「自分で考えて」動くことを、まずはこの休みの間に取り組みましょう。

今週から、新たにお二人の先生を大津小学校にお迎えしました。松本拓也先生（写真左）と久保田友香先生です。松本先生は県の非常勤講師として週3日、特別支援学級を担当していただきます。大津小学校のご勤務は2回目とのこと。また、久保田先生は、大津町の学習指導支援員として主に3年生の学習補助に当たっていただきます。久保田先生は初めての大津小学校です。



松本拓也先生



久保田友香先生